

【JPrOS 通信 No.433】 2023. 05.25 JPrOS2023 演題登録締切延長：最終締切 6 月 2 日(金)

★★★ 日本プロテオーム学会 学会通信第 433 号 ★★★ 2023.05.25



■■■ JPrOS2023 演題登録締切延長：最終締切 6 月 2 日(金) ■■■

JPrOS2023 の演題登録は明日 5 月 26 日(金)を締め切りとしているところですが、今回、1 週間の登録延長をすることにいたしました。

最終締切は 6 月 2 日(金)です(再度の延長はありませんので、ご注意ください)。皆様奮ってご参加・発表の方よろしくお願いたします

会期:2023 年 7 月 24 日(月)・25 日(火)・26 日(水)

会場:朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

参加登録期間 2023 年 4 月 10 日(月) ~ 2023 年 6 月 30 日(金)

演題登録期間 2023 年 4 月 10 日(月) ~ 2023 年 6 月 2 日(金)

JPrOS2023 大会サイト <https://www.jhupo.org/event/2023/index>

大会の特徴

特別講演

- アントニー・パーセル教授 (Prof. Dr. Anthony Purcell)
(モナシュ大学; Monash Univ.)
- 寺崎 哲也 教授 (Prof. Tetsuya Terasaki)
(東フィンランド大学/東北大学)
- 中山 敬一 教授 (Prof. Keiichi I Nakayama)
(東京医科歯科大学/九州大学)

9つのシンポジウムに加えて、一般および一般(若手)の口頭発表セッションを企画しており、10-15 演題を採択予定です。奮ってご参加ください!

日本プロテオーム学会員の皆様

平素より日本プロテオーム学会にご協力いただき誠にありがとうございます。

日本プロテオーム学会 2023 年大会の参加登録ならびに演題登録を開始いたしましたのでお知らせいたします。

日本プロテオーム学会 (JPrOS) 2023 年大会 (JHUPPO 第 21 回大会) を 2023 年 7 月 24 日から 26 日の日程で開催いたします。今回は、約 10 年ぶり2度目となる新潟の地(朱鷺メッセ)にて対面にて開催することを目指しております。

近年、プロテオームに関わる技術の発展はめざましく、基礎生物学はもとより、医学や農学、さらには食品科学に至るまで、欠かすことのできない重要な研究手法となってきました。また、プロテオミクスにおける人工知能技術の応用、構造生物学との融合、さらにはシングルセルプロテオミクスの実現など、着実に次のフェーズに向かいつつあります。

2023 年度大会では、このように発展著しいプロテオーム研究成果を持ち寄り、発表・議論の場を設けることで、今後の日本のプロテオーム研究をさらに活性化するための起爆剤としたいと思います。是非、ご参加いただきますよう、心よりお待ちしております。

日本プロテオーム学会 2023 年大会 大会長

新潟大 松本 雅記

【大会組織委員】

大会長

松本 雅記(新潟大学)[大会運営委員]

副大会長

紀藤圭治(明治大学)[大会運営委員]

大槻純男(熊本大学)[大会運営委員]

実行委員会(50 音順)

足立 淳(医薬基盤栄養・健康研究所)

荒川 憲昭(国立医薬品食品衛生研究所)

奥田 修二郎(新潟大学)

押川 清孝(新潟大学)

川島 祐介(かずさDNA 研究所)

木村 弥生(横浜市立大学)

小林 大樹(新潟大学)

近藤 格(国立がん研究センター研究所)

武森 信暁(愛媛大学)

幡野 敦(新潟大学)

本多 敦子(新潟大学)

増田 豪(熊本大学)

プログラム委員(50 音順)

委員長:

大槻 純男(熊本大学)

委員:

足達 俊吾(国立がん研究センター研究所)

石濱 泰(京都大学)

今見 考志(理化学研究所)

岩崎 未央(京都大学)

奥田 修二郎(新潟大学)

川島 祐介(かずさDNA 研究所)

幡野 敦(新潟大学)

増田 豪(熊本大学)

【日本プロテオーム学会通信】は、日本プロテオーム学会会員の皆様に配信しています。【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問合せ】【掲載希望】は、日本プロテオーム学会事務局（info@jhupo.org）にお願いいたします。
